

太平洋カレニア調査速報

令和8(2026)年7月30日

中央水産試験場海洋環境G

7月22-26日に太平洋（道東～日高沖の22点）で試験調査船（北辰丸、金星丸）によって実施した有害赤潮プランクトン（カレニア・セリフォルミス）の調査結果をお知らせします。

【カレニアの出現状況】

・海水試料を検鏡した結果、カレニア・セリフォルミスは確認されませんでした。

【その他の植物プランクトンの出現状況】

・渦鞭毛藻（多くの赤潮プランクトンが属する分類群）は、沿岸寄りの定点で比較的多く出現していました（図1）。

・珪藻（カレニアの競合生物）も、上記同様に、沿岸寄りの定点に比較的多く分布していました（図2）。

【今後の見通し】

・上記の結果から、カレニア・セリフォルミスによる有害赤潮が発生する可能性は、今のところ低いものと考えられます。

※本調査は水産庁委託事業「環境変動に対応した持続的漁業・養殖業構築緊急対策事業」によって実施されました

※※本速報は下記URLで情報公開されています。

<https://www.hro.or.jp/fisheries/research/central/section/kankyoku/akashio.html>

